

青鵠課題研究「成果発表会（リハーサル）」プレゼンテーション 評価基準表

項目	評価基準		
	十分満足できる（A）	おおむね満足できる（B）	努力を要する（C）
① 発表用スライドの作成能力 【知】【主】	文字の大きさや情報量が適切なスライドを作成することができており、さらに図や表が適切に用いられている。	文字の大きさや情報量が適切なスライドを作成することができているが、図や表が適切に用いられていない。（軸ラベル・単位・キャプションなどが無くて一見して何を表しているのか分かりづらいグラフや表、等）	文字の大きさや情報量が適切なスライドを作成することができていない。（文字が小さすぎて見にくいスライド、1スライドに多くの情報を詰め込みすぎたスライド、等）
② プレゼンテーション能力 【思】【主】	スライドの内容の説明について、言葉に詰まることなく大きな声ではっきりと発表できており、さらに視線を上げて聞き手を意識しながらしゃべることができている。	スライドの内容の説明について、言葉に詰まることなく大きな声ではっきりと発表しているが、発表原稿ばかりに気を取られていて聞き手を意識できていない。	スライドの内容の説明について、言葉に詰まったり小さな声でぼそぼそと発表したりしている。
③ 実験結果をまとめる能力【知】	実験目的、実験手順、実験結果が適切にまとめられており、写真・動画やグラフ・表を用いて聞き手に伝わりやすい工夫をしている。	実験目的、実験手順、実験結果が適切にまとめられているが、写真・動画やグラフ・表を用いて聞き手に伝わりやすい工夫をしていない。	実験目的、実験手順、実験結果が適切にまとめられていない。（実験目的や実験手順が書かれていない、実験結果が何のデータであるのかを示していない、等）
④ 研究全体をまとめる能力【思】	研究の目的から研究のまとめに至るまでの筋道が通っており、実験結果からの考察や今後の展望がデータや事実に基づいて論理的にまとめられている。	研究の目的から研究のまとめに至るまでの筋道が通っているが、実験結果からの考察や今後の展望が飛躍していて論理的にまとめられていない。	研究の目的から研究のまとめに至るまでの筋道が通っていない。

【知】… 知識・技能 ／ 【思】… 思考・判断・表現 ／ 【主】… 主体的に学習に取り組む態度